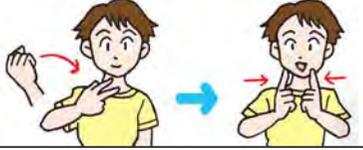
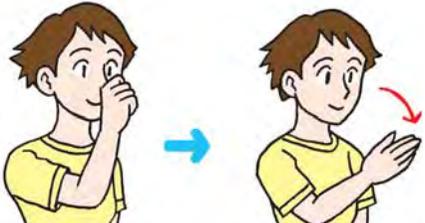


あいさつの手話表現 (例)

<p>こんにちは</p> <p>人差し指を向かい合わせ、指先を曲げる</p> 	<p>こんばんは</p> <p>「夜」という手話と「挨拶」という手話をあわせる</p> 
<p>ありがとう</p> <p>片手甲に直角にのせた反対の手を上げる</p> 	<p>わかりました</p> <p>片手の手のひらを胸にあてて、そのまま下になる</p> 
<p>さようなら</p> <p>手を振る</p> 	<p>また会いましょう</p> <p>「また」という手話と「会う」という手話をあわせる</p> 
<p>よろしくお願いします(良い・お願いします)</p> <p>握った拳を鼻の前におく</p> 	

5. ベビーカー利用者への理解とお手伝いのポイント

電車やバスで、ベビーカーを折りたたまずに乗っている若いママを見かけます。このベビーカーに対する世間の印象はちょっと複雑。ママたちの必需品なのですが、車いすでの乗車ほど認知されておらず、冷たい視線を感じられることも。

便利なベビーカーも、こんな状況で困ることがあります

● 駅構内で

地下鉄の構内。ベビーカーを押しながろうろうろしていた若いママ。どうやらこの駅には、エレベーターもエスカレーターも装備されていない様子。長い階段を前に、彼女はいまにも泣き出しそうな気配です。

対応ポイント

- 笑顔で、「お手伝いしましょうか？」と声をかけます。もし、階段を上がって地上に出るのであれば、「お手伝いしましょうか」と申し出て、二人で運ぶ段取りを。
- 最近のベビーカーは軽量のもので5kg強、外国産の堅牢なものだと11kg強の重量があります。これを女性一人で持ち上げて運ぶのは大変。見ぬふりをせずに、ひとこと声をかけてください。



案内図



禁止図

妊婦さんには、思いやりといたわりの心で

妊婦は、足元がみえにくく、前かがみの姿勢やしゃがむことが難しくなります。加えて、歩幅が狭くなり、長時間の立ち姿勢は困難に。

電車やバスで妊婦さんを見かけたら、まずは「ひとこと」声をかけて、席を譲るなどしましょう。思いやりといたわる心が大切です。

6. 内部障害者への理解とお手伝いのポイント

30～40代の男性が、満員電車やバスの優先席に腰かけていました。周りは「何だ、この男性は！」と冷たい視線を投げかけます。実は、彼は周りの人には理解しづらいのですが、内部障害者だったのです。

内部障害者とは

身体の内部に障害を持つ人のことで、外見からは見分けがつかないため、周りから理解してもらいにくい病気です。心臓機能障害や腎臓機能障害、肝臓機能障害、小腸機能障害、呼吸機能障害、膀胱・直腸機能障害、免疫機能障害（HIV：エイズ）があります。

内部障害者（心臓機能障害者）はこんな状況で困ることがあります

バスの優先席で、高齢の男性がじっと我慢をしている様子。目の前で10代の若者がメールを送信しているのです。男性は、静かに「申し訳ないが、携帯電話の電源を切ってもらえませんか」とひとこと。若者は、聞こえないのか、無心にメールを送り続けています。

「実は、私は心臓ペースメーカーを使用しているのですよ」。男性はそう打ち明けましたが、若者は相変わらず無関心のまま。やむを得ず、男性はブザーを押して次の停留所で降りていきました。

対応ポイント

- ペースメーカーと携帯電話の間は15cm以上離すことが望ましいと、総務省のガイドラインにも謳われています。それ以内の距離だと、携帯電話の発する電波が心臓ペースメーカーの誤作動を起こす可能性があると言われていたためです。
- 最近の総務省調査では、ペースメーカーにほとんど影響がないことが判明しています。しかし、優先席周辺では、ペースメーカーの使用者に配慮して、携帯電話の電源を切りましょう。それがエチケットです。

7. 知的障害者への理解

知的障害の方は、こんな状況で困ることがあります

● 券売機の前や駅の構内、ホームなどで

- ・ 誰かに尋ねたいけれど、自分から声を掛けることができない。
- ・ どうしてよいかわからず、その場から動けない。
- ・ 声をかけることができず、もじもじ、うろろうして「ひとりごと」を言ったりする。
- ・ 状況判断ができなくなり、混乱してうろろう動き回る。

これらは知的障害者の方などに、見られる行動です。見かけたら「何かお手伝いすることはありますか？」と、ひとこと声をかけましょう。

知的障害者とは

何らかの原因で知的な発達に障害を持つ人で、言語障害やコミュニケーションなどに困難を有します。また、新しい環境への順応や目的場所までの行き方を理解することが難しいとも言われています。

原因はさまざまですが、ダウン症など染色体異常、胎生期の中毒、出産時の障害、出産後の感染・中毒などによることが判明しています。

知的障害者は、素早く行動することが苦手な傾向にあります。本人にわかりやすくゆっくり説明し、本人が納得できる（決定できる）ようにしましょう。

